

親が育ち子どもも育つ地域活動のためのワークシート ～家庭教育支援の視点から～ （保護者）

①～初めてワークシートを使われる方～

＜活動企画時＞主催者がワークシートを記載します。

記載する箇所は上部の**活動日時**、**活動場所**、**活動名**、中央の枠「お・や・そ・だ・ち」から見た活動の目的や内容」です。

(1) 活動の基本情報を記入してみましょう。

○ワークシート上部の記載欄に、企画されている活動の**活動日時**、**活動場所**、**活動名**を記載してみましょう。

(2) 家庭教育支援のポイントを理解しましょう。

○ワークシート上部の「家庭教育支援の視点（教育基本法第10条より）」やシート左部の「家庭教育支援の視点でわかりやすく示した一例「お・や・そ・だ・ち」」の各項目に記載の家庭教育支援のポイントを理解しましょう。

(3) ワークシートに記載してみましょう。

○企画されている活動を、家庭教育支援の視点から振り返るため、「お・や・そ・だ・ち」から見た活動の目的や内容」（企画する活動の中での工程（ワンシーン）です）を記入してみましょう。

○シートを埋めきれない場合は、企画されている活動に家庭教育支援の要素が入っていないかもしれません。

全て記入できるよう企画を見直していただくことで、いつもの地域活動がより「親が育ち子どもも育つ地域活動」となっていきます。今回、難しい場合は、次回の活動企画時に生かしてみたいはいかがでしょうか。

＜活動実施時＞参加者がワークシートを記載します。

記載する箇所は右側の枠「家庭教育支援の視点について活動のなかでの感想などをご記入ください」です。

(4) 活動の主催者が上記（3）までを記載したワークシートを、参加者に配付します。

○文字にして表わすことで、参加者と目的を分かちあうことができます。

(5) **右側の枠** 活動終了後、参加者に感想を記入していただきます。

(6) 記入していただいたワークシートを回収しましょう。

○参加者に記入したワークシートを携帯等で撮影していただく等、各家庭で振り返ることができるようにしましょう。

○撮影が困難な場合は、主催者が撮影する等で記録に残し、ワークシートを参加者に持ち帰っていただきます。

(7) 活動の主催者は、参加者に対して、ワークシートの内容や実際に活動した感想について、各家庭で子どもと話しあっていたり、地域で話あっていただくよう伝えましょう。

○子どもと話あうことが「家庭教育」となり、地域で話あうことが「家庭教育支援」になります。

②～2回目以降にワークシートを使われる方～

(1) 前回の活動で使用したワークシートやアンケート、他の活動からの情報があれば、それらを見直してみましょう。

(2) ①「～初めてワークシートを使われる方～」の手順を踏まえ、改善してみましょう。

○活動にクイズが取り入れられるなど、親が育ち子どもも育つ内容がより盛り込まれるかもしれません。